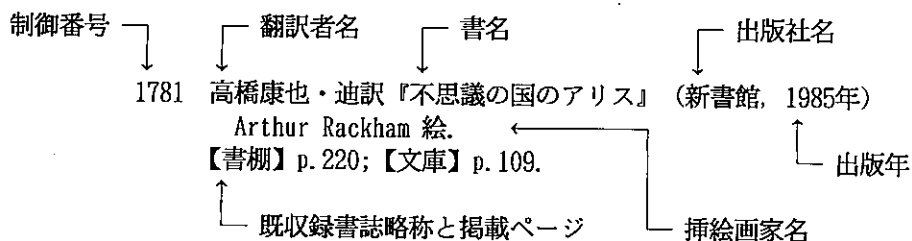


(3) 注記

必要に応じて記載。なお、本編あるいは補遺に収録された文献を注記中で指示する場合には、その文献の制御番号（4桁）を [] で囲んで記載した。その他、特殊な注記としては、以下のものがある。

- ① 以下の書誌（計5種）に収録済の文献には【 】でその収録書誌の略称を注記するとともに、当該書誌における掲載ページを付記した。
 - i) 【絵本】高橋康也編「アリス書誌」（高橋康也編『アリスの絵本』（牧神社, 1973年）p.129-134）
 - ii) 【書誌】成田みゆき・藤原万記子編『日本におけるルイス・キャロル書誌』（1975年）
 - iii) 【資料】根本正義「資料／キャロルの翻訳・研究文献」（『日本児童文学』23巻9号通巻261号, 1977年8月, 特集「ルイス・キャロル」p.82-88）
 - iv) 【書棚】「アリスとキャロルの書棚—書誌」（ドーマウス協会／桑原茂夫『アリスのティーパーティ』（河出書房新社, 1986年, 河出文庫）p.220-221）
 - v) 【文庫】「アリス文庫」（少女座『アリスの本』（『少女座』No.5, 1987年9月）p.102-112）
- ② Alice のテキスト（[1772]～[1807]）には挿絵画家名を注記した。
- ③ テキスト以外の翻訳文献には原題を注記した。
- ④ 引用は二重線の野線（≡）を上下に付して記載し、引用部分の掲載ページを右下に付記した。

3. 記載例



書誌データの記述に用いる漢字は JIS C 6226-1983（情報交換用漢字符号系）の第1水準漢字集合および第2水準漢字集合を基本としたが、必要に応じて適宜修正を加えている。なお、異体字関係にある漢字はそれぞれ別個の漢字として扱うこととし、字体の統一は行っていない。

この補遺は非常に多くの方々の協力によりここに完成できたものである。もしも私がただ一人だけで作成していたのならば、この補遺は永久に未完成のままであったろう。怠惰な私などには望むべくもない貴重な情報を惜しげもなく提供して下さった匿名の篤志家諸氏に、この場を借りて、本当に心より感謝申し上げる。そして最後に、大変恐縮ながら、遅れに遅れてしまったこの約束の品を当時のままに笑顔で受け取ってくださるようお願いすることをお許しいただきたい。